

早雲だより

2021.11.10

第151号

歴史グループ早雲

代表 井上一夫

第一六七回 歴史ハイキング 報告

少しマイナーな洛南

藤森から洛東 今熊野を巡る

2021年10月24日(日)

コロナウイルス感染拡大と

雨天のため中止を含めて
一年ぶりの歴史ハイキングと
なりました。

幸いコロナウイルス感染状
況も落ち着き、好天に恵まれ
た例会になりました。参加者
32名の盛況でした。

集合場所の藤森神社で受付
後、境内を自由参詣してい
だき拝殿前再集合。コロナウ
イルス感染防止に心がけなが
ら拝殿前で集合写真・ハイキ
ングの概要と行動中の注意事
項の説明を行いました。続け
て恒例の「井内講座を行い、
井内さんの「疫病退散の守り
神からクイズ」の出題と解答、
そして正解者へ記念品の贈呈
を行いました。その後、出発
しました。

概要

歴史的に由緒ある寺社と
近代史の隠れた史跡を巡り
現地踏査ならではの醍醐味
を味わえたと思います。

今は様変わりしている深
草一帯は明治から昭和20
年まで軍事拠点でした。

京都歩兵聯隊跡碑で兵舎
配置等・師団司令部・師団
街道を確認しました。多く
の将兵がここから戦地へ赴
き命を落とされました。

伏見の酒は全国的に有名
ですが、江戸幕府の政策も
あって江戸時代末には衰退
していました。深草に軍が
駐屯することでお酒の需要
が増加し全国に展開する足
掛かりとなりました。

散策コースは次の通り。

藤森神社・京都歩兵聯隊跡
碑→旧陸軍第16師団司令
部庁舎(聖母学院本館)→
瑞光寺→石峰寺→上の公園
(昼食)→ぬりこべ地蔵尊
→伏見稻荷(千本鳥居)→
辻)→(京都トyle)→
泉涌寺→瀧尾神社(解散)

藤森神社

平安期以前、神功皇后が
軍旗を樹て兵具を納め塚を
造り神まつりしたのが始ま
りと伝える。桓武天皇も平
安京遷都に際し、弓兵政所
とした。5月5日の「藤森
祭」は、朝から神輿3基が
氏子(区域)内を巡行し、
武者行列が練る。端午の節
句に武者人形を飾る風習は
この行事に由来する。この
日は境内では呼びものの駈
馬(かけこま)神事があり、
一字書き、藤下がり、さか
乗りなどの馬上妙技が披露
される。創立:203(神
功摂政)年

京都歩兵聯隊跡碑

藤の森神社東側の台上は
五十年にわたる郷土歩兵聯
隊が駐屯し、十万をこえる
将兵が苦楽を共にし、生死
を誓い、日夜修身練武に精
進した軍兵營の跡である。

明治二十九年歩兵第三十
八聯隊が編制され翌三十年
七月この兵舎の竣工をまつ
この地に屯した。

満州事変に際しては京都
第十六師団の隷下にあった。
**聖母女学院本館(旧陸軍第
十六師団司令部庁舎)**

聖母女学院本館は、京都
でも屈指の歴史ある建造物
です。外観は古典様式の意
匠でまことめられている。

陸軍第十六師団は日露戦
争の末期である明治38年
日露戦争に既存の師団を総
動員したことにより、本土
駐留の師団が皆無となった
事態を受けて新たに増設さ
れた4個師団(第十三~十
六師団)のひとつです。駐

屯地は京都府紀伊郡深草村(当時)が選ばれた。当時深草一帯は農村地帯であったが広大な軍事拠点となり、地域の伏見は1万人以上の軍人が移住し軍都として発展した。その中心となる師団司令部庁舎として1908(明治41)年8月に工期僅か8カ月で建設された。昭和24(1948)年に聖母女学院が国から払い下げを受け校舎として使われている。現在この地域は聖母学院・龍谷大学・京都教育大学等があり文化教育の街となっている。2116年2月25日、国登録文化財(有形文化財建造物)に指定される。

改めて正面全景を望む。正面の両端に設けられた大きな半円窓が、付柱やアーチ型玄関で飾られた中央部分と共に、建物の外観に変化をつけて。正面中央部のマンサード屋根の上部にあった棟飾りが失われている

ことを除けば創建当初と殆ど変わらない佇まいである。なお、三角破風の中央、現在は学院の紋章が嵌め込まれているところには、師団司令部であった頃は菊の御紋が嵌め込まれていた。

石峰寺

百丈山石峰寺は、宝永年間(1704〜1711)黄檗宗第六世賜紫・千呆性俊禅師により建立された禅道場です。寛政年間に当寺に草庵を結んだ画家・伊藤若冲は禅境を好み、仏世の霊境を化度利益することを願い、石峰寺七代住職・密山和尚の協賛を得て、安永の半ばより天明初年まで前後十余年をかけて裏山に五百羅漢を制作しました。

羅漢とは釈迦の説法を聞き、世人より供養されるにふさわしい悟りを完成した聖者のことです。釈迦入滅後その後教えを広めた数多くの賢者を「五百羅漢」と称し、尊崇・敬愛の意を表すため、中国で

は宋・元時代より絵画や彫刻で五百羅漢像があらわれ、我が国に於いても室町時代以降多くの羅漢像が制作されました。ひとつひとつ個性的で虚飾のない表情の中に豊かな人間性を感じさせる羅漢像は庶民からも広く愛され、江戸時代には羅漢信仰がおおいに隆盛し、羅漢の群像が日本各地に作られるようになりました。

当寺の五百羅漢は若冲が磊落な筆法を用いて下絵を描き、石工に彫らせたものです。釈迦誕生から涅槃に至るまでの生涯を表現したものを中心に、諸菩薩、羅漢を一山に安置しています。当初は1000体以上もの石像が配されていました。現存する五百数十体の石像は長年の風雨を得て丸み、苔むし、その風化に伴う表情や姿勢に一段と趣を深めています。

石峰寺と伊藤若冲

伊藤若冲(1716〜1800)江戸時代中期の画家。京都高倉錦小路の青物問屋の長男として生まれ二十三歳の時に家督を継ぐ、三十歳代の時に相国寺の大典禅師に出会い参禅し「若冲居士」の号を得る。四十歳で弟の白歳に家督を譲り画業に専念。天明八年(1788)の京都大火(天明の大火)で家を焼かれ寛政の初めに石峰寺の古庵に住む。「斗米翁」と称して米一斗と一画を交換する生活を送り、寛政十二年(1800)九月十日、八十五歳の生涯を閉じる。

ぬりこべ地蔵尊

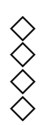
伏見区深草大門町の路傍に建っている約1メートルの石仏。京都では歯痛にご利益があるとして有名。歯痛平癒を祈るハガキが全国から寄せられ、小さな堂内に山積み。お札に塗り箸を

奉納。虫歯予防デー(6月4日)にちなんで地元深草稲荷保勝会が中心になって供養を営んでいる。

伏見稲荷大社

ご鎮座は和銅4(711)年2月初午の日とされ、全国各地に祀られている稲荷神社の総本宮。同社は古来「衣食住の大祖にして、万民農楽の神靈なり」と篤く信仰されており、中世から近世にかけては商売繁盛・家内安全の神としてご神徳も広く伝播されています。稲荷山の神蹟を巡拝するお山巡り、は約4キロ、参道に建立された数千本の鳥居は壮観。2月初午の日にはご鎮座ゆかりの日として古来より、民衆が群参する。4月20日に近い日曜日(神幸祭)から5月3日(還幸祭)は「稲荷祭」。5基の神輿が、南区西九条のお旅所に渡御し、還幸祭に京都駅周辺〜松原通まで拡がる

一口感想



H・MO

氏子区域を巡幸して還御する。11月8日は「火焚祭」で、秋の収穫のあと、春に迎えた穀霊を再び山に送る神事。

泉涌寺

真言宗泉涌寺派の総本山。皇室との関連が深く御寺（みてら）とも呼ばれる。

寺伝によれば、空海が天長年間（824-34）ここに草庵を結び、法輪寺としたのが起り。1218年（建保6）年月輪大師が造営するにあたり、清泉が涌き泉涌寺と改められた。四条天皇以来14代の天皇陵をはじめ、皇妃、親王陵墓など39の陵墓がある。仏殿（重文）は、徳川家綱の再建で、運慶派作と伝える釈迦、弥陀、弥勒の三尊を安置。天井の竜は狩野探幽筆。霊明殿に歴代天皇、皇后、親王の尊牌を奉安。洛陽二十三観音霊場20番札所の楊貴

妃観音（重文）、1月の成人の日に行われる七福神巡りは有名。建立：1218（建保6）年

瀧尾神社

神社の創建や由来は不詳ですが、豊臣秀吉の大仏殿建立に伴つ移転で現在地へと移されました。江戸時代の初期には幕命により、神社名を瀧尾神社とされています。

現在の社殿は、江戸時代後期・天保10年（1839）〜11年に大丸百貨店の創業者下村彦右衛門が行商の頃より、自宅のあった伏見区京町から毎朝欠かさずお参りをしていた、大丸百貨店の繁栄は瀧尾神社のご利益のおかげと創業家、下村家の2500両（現在価値で約5億円）もの莫大な寄進より、移築・改築、整備されています。巨大な龍の彫物（全長8mもの木彫り）は拝殿の天井に据えられています。

京都市指定有形文化財

H・M

一年振りの歴史ハイキング。天候にも恵まれ、懐かしい皆さんと一緒に散策を楽しむことが出来充実した一日になりました。お世話いただいた会長、役員の方々にお礼申し上げます。

今回のコースの中で驚いたのは、広大な深草地区が

かつて陸軍第16師団の拠点であったこと。なお、「瑞光寺」「石峰寺」は私にとって三度目の訪れでしたが、茅葺で典雅な形状の瑞光寺本堂、伊藤若冲がデザインした五百羅漢は何度見ても心を打つ景観です。

伏見稲荷大社の階段はハートでしたがリダーの掛け声に励まされなんとか乗り切れました。最終地「瀧尾神社」に着いた時には足が重くなっていましたが達成感を味わうことが出来ました。



M・O

初参加です。少し不安もあったのですが、皆様に親切にしてください、楽しい一日を過ごすことができました。

藤森神社では藤森祭（5月5日）の夜店で迷子になったことを思い出し、なつかしかったです。本日のコースで石峰寺があったのが若冲ファンの私にとって一番うれしい事でした。お墓参りもさせてもらいました。

歴史ハイキングが167回も続いているのは凄いとですね。森さん（女性）という方に色々お話を伺いました。彦根、栗東、高槻からも参加されているなんてびっくりしています。

井上さんはじめ役員（世話人）の皆様にあらためて感謝いたします。ありがとうございました。



H・MO

「□□ナ・□□ナで自粛・自粛と右往左往させられましたが、ようやく鎮静化の明るい兆しも見え、再三中止のハイキングも再開され、好天にも恵まれ、

久しぶりに皆さんの元気な姿を拝見出来ました。十数キロ余りの行程でしたが、特に伏見稲荷の千本鳥居・急な石段を皆さんの健脚ぶりには感心しました。

一、二日太ももの痛みが取れませんでした。年齢と運動不足をあらためて痛感した次第です。



京都歩兵連隊跡碑



井内講座



藤森神社



瑞光寺



聖母学院本館



五百羅漢(石峰寺)
(パンフレットから)



石峰寺



伏見稻荷大社展望所



千本鳥居



瀧尾神社



京都トレイル

◆井内講座◆

疫病退散の守の神からのクイズ

コロナ蔓延の消滅を祈願して、日本では今アマビエ様が大人気です。

今まで世界各地では、人は困難な局面に立ち向かう為にも何かにすがりました。

本日はその中からのクイズです。

問題1

中国の唐の時代に実在した人物で、玄宗皇帝が病に伏せていた時、その夢の中に現れ、病の元を退治したと言われています。

さて、中国の民間伝承に伝わる道教系の神様の名前は何？ 答え（ ）

問題2

アマビエ様に続き、現在注目されている疫病退散の救世主は、山梨県出身です。

この救世主は「私の姿を朝夕拝めば難を逃れることができるぞー」語り、人々の

信仰を集めています。さて、この救世主の名前は？

答え（ ）

問題3

その姿は、古くは牛の体と人間の顔の怪物であると言われていました。幕末頃に最も広まった伝承では、牛から生まれ、人間の言葉を話すとされています。

生まれて数日で死んでしましますが、その間に様々な予言をし、その予言は間違いなく起こります。又、その絵姿は、厄除招福の護符になると信じられています。

さて、これは何と呼ばれているでしょうか？

答え（ ）

問題4

この人の弟子には往生要集の著者、恵心僧都源信があり、元三大師・角大師・豆大師・厄除け大師とも尊称され、いずれも魔除けの護符として広い信仰を集めています。康保

3(966)年には天台宗最

高の地位である天台座主

(第18代)にも上り詰め

ました。

さて、この人物の名前は何か？

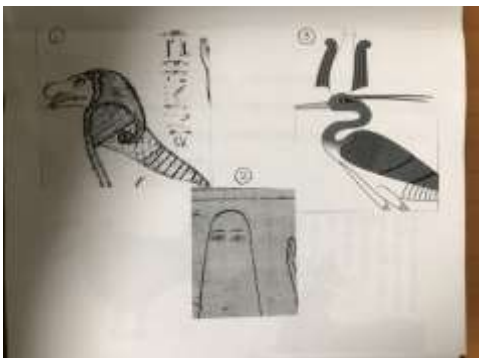
答え（ ）

問題5

古代エジプトにも悪霊から身を守る神がいました。その名前は、「打ち倒す者」と言われています。

さて、メジエド(メジード)の姿は次の内どれでしょうか？

答え（ ）



◇お知らせ◇

【編集後記】

「コロナ禍と雨天の影響で

何と一年ぶりの歴史ハイキングとなりました。歴史ハイキングに雨天中止は似つかわしくないと雨天決行を決意したところ好天に恵まれホッとしました。

今回は伏見稲荷大社から千本鳥居を巡るのと本町通を北進するの2手に分かれました。体力に合わせたコース選択ができて良かったです。

グループラインを作りました。たくさんの方に入っていたくと連絡が便利になります。加入は自由です。久しぶりの例会お疲れ様でした。

グループラインを作りました。たくさんの方に入っていたくと連絡が便利になります。加入は自由です。久しぶりの例会お疲れ様でした。

グループラインを作りました。たくさんの方に入っていたくと連絡が便利になります。加入は自由です。久しぶりの例会お疲れ様でした。

グループラインを作りました。たくさんの方に入っていたくと連絡が便利になります。加入は自由です。久しぶりの例会お疲れ様でした。

グループラインを作りました。たくさんの方に入っていたくと連絡が便利になります。加入は自由です。久しぶりの例会お疲れ様でした。

グループラインを作りました。たくさんの方に入っていたくと連絡が便利になります。加入は自由です。久しぶりの例会お疲れ様でした。

グループラインを作りました。たくさんの方に入っていたくと連絡が便利になります。加入は自由です。久しぶりの例会お疲れ様でした。

グループラインを作りました。たくさんの方に入っていたくと連絡が便利になります。加入は自由です。久しぶりの例会お疲れ様でした。

グループラインを作りました。たくさんの方に入っていたくと連絡が便利になります。加入は自由です。久しぶりの例会お疲れ様でした。

◆井内講座◆解答

問題1 鍾馗

問題2 ヨゲンノトリ

問題3 件(くだん)

問題4 良源

問題5 写真②